



発行所  
長崎県五島市池田町1番1号  
長崎県立五島高等学校  
PTA調査広報委員会  
印刷所 才津印刷所

をとても受けやすくなりました。  
子供たちを犯罪に誘い込む大人社会のモラルの低下も大きな問題です。  
スマートフオンによる「ネット依存」「ネットいじめ」「出会い系サイト」「悪質メール」などの危険が潜んでおり、また、長時間にわたり使用することで学習面においても支障をきたすものと思われる。これらの機器の持つ危険性について、さらに深く知る機会を持ち、その正しい利用について考える必要性があると感じています。

### 「PTA活動の役割とは」

PTA会長 桑原 繁次



ご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。PTA活動とは、学校と家庭が互いに協力しながら生徒の健全育成と学びの環境整備、教育の推進向上、そして会員相互の親睦をはかるものです。

さて、今の子供たちを取り巻く環境は、私たちが高校生の頃と比べて、人口減少、少子高齢化、ITの発達などにより社会構造が大きく変化しています。そして、その急激な変化により大人社会の影響

この度、昨年度の副会長から、本年度PTA会長を務めさせて頂くこととなりました。桑原と申します。皆様にはPTA活動に対しまして、

それから、保護者として、高校の教育目標や教育方針などについて理解を深め、学校と家庭の連携を図り、子供たちが充実して高校生活を送れるように応援することが役割と考えます。微力ではありますが、これまで取り組んできた活動を大切にしながら、更に発展させることができるよう一年間頑張つてまいりたいと思っております。多くのPTA会員の皆様のご理解ご支援が不可欠となりますので、どうぞご協力をお願い致します。



米国の文化人類学者ルース・ベネディクト著『菊と刀』は、第二次大戦中の米国防時情報局による日本研究をもとに執筆され、後の日本人論

の源流となった不朽の書である。

その毀譽褒貶はおくとして、高校時代に読んだ内容で、今でも印象深く覚えているところがある。それは、日本人(日本社会)と西洋人(西洋社会)との子育ての違いを記したところである。日本人は、子育てにおいて幼児期には非常に甘い、成長するに従い厳しくなるという。一方、西洋人は幼児期には厳しくしつけ、成長すると甘くなる(相手の人格を尊重する)というのである。儒家思想における孟子の性善説と荀子の性悪説との違いのようなものである。日本に一度も訪れたことのないベネディクトではあれども、日本の文献や情報から、かくも見事に裁断した。現実的な是非はわ

### 「難しきかな子育て業」

校長 西川 晃二

からぬが、日本人の、そして西洋人の大まかな傾向と見て取れないだろうか。

さて、翻つて、我が子育てについて申し上げれば、幼児期に甘く接したが故にしつけ不十分。ならば、成長してから厳しくしつけているかというところもできず、子どもに振り回される始末。はたして、ベネディクトのいう日本人の姿とは到底かけ離れた、何とも不甲斐ない親父に成り下がった始末である。子育ては難しい。長年、高校教師をしておきながら、何を今さらと言われればそれまでだが……子育てとは生徒の教育とは何と違うことよ。子育ては自分の子ども、生徒の教育は他人の子ども。その単純な違いが今になって心底わかりつつあります。それ故にこそ、保護者と教員が補完しあつて、子を育て、生徒を教育していかねばならないでしょう。

はてさて、私はというと、大学生になった娘たちとまた、ひと味違った格闘をする毎日でございます。

## 高総体結果









**【柔道】**

男子個人戦 100kg超級 戸野本 優勝(インターハイ出場)  
60kg級 下村 準優勝(九州大会出場)  
73kg級 大川 準優勝(九州大会出場)  
81kg級 野口 第3位

**【陸上】**

男子 8種競技 今村 第4位(北九州大会出場)  
110mH 今村 第5位(北九州大会出場)  
女子 走り幅跳び 荒木 第4位(北九州大会出場)

**【剣道】**

女子団体戦 ベスト8  
女子個人戦 柳田 ベスト8(九州大会出場)

**【バドミントン】**

男子団体戦 ベスト4

**【バスケットボール】**

女子 ベスト8











# お弁当特集

昼休みに激写!!  
~お弁当を撮らせて下さい~



やっぱり、ママの飯が一番です。(2年男子)



毎日おべんとう作ってくれてありがとうございます。あと2年、早起きががんばってください。(2年男子)



毎日早朝に起きて弁当を作ってくれる母には感謝しています。ご飯も雑穀米にしてくれたりして、体にも良く、美味かったです!!(2年女子)



いつもおいしいご飯を朝からありがとうございます。いちばん好きなのは、♡の卵焼きです。(1年女子)



いつもお弁当ありがとうございます。こんなに大きくなりました。(2年男子)



午後のエネルギーはこの弁当でチャージ!!(2年男子)

## ~全校生徒に聞きました~

### 高校から始まった 弁当生活をどう思いますか?

良いと思う

理由は?

- ・量を調節できるから
- ・好きなおかずが入ってるから
- ・愛情を感じるから

そこで今回は

# お弁当

について特集しました。

## 生徒に聞きました! あなたの好きなおかずは?

- BEST 1 唐揚げ** 子どもたちは揚げ物好きですね。
- BEST 2 卵焼き** やっぱりお母さんの味ですね。
- BEST 3 ハンバーグ**

## お弁当への思い (生徒)



高校に入学してから約三年が経ちました。この三年間で私が一度も忘れたことのないものはお弁当です。教科書や、課題、筆箱は忘れたことがあっても、お弁当だけは一度も忘れたことがありません。お弁当という存在はそれほど大きいものだと私は思います。私のお母さんは毎日四人分のお弁当を作っています。「明日作らんでいい?」と言いますが、作ってくれます。毎朝一問に合わな「い」と言いますが、登校までに間に合わせてくれます。喧嘩した次の日も必ず作ってくれます。いつもおいしくて、愛情120%のお弁当を食べられるのもあと少しになりました。残りの高校生活、どの店よりもおいしいお母さんの弁当に感謝しながら食べたいと思います。

(三年生女子)

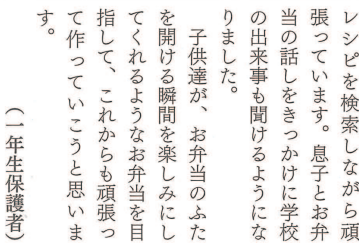
## お弁当への思い (保護者)



息子が高校へ入学してから、お弁当作りがスタートし早二年三ヶ月、最初はとまどいながらも四苦八苦しながらかむしやらに作っていました。二年生になって手を抜く事を覚え朝から、チンの嵐、三年になると卵焼きも弁当箱の1/3を占め息子からのきつーい一言「お母さんの弁当は爆弾を開ける様なものだよね」と言われ大ショック。やっぱりキャラ弁とかにした方が良かったかしらと反省していると息子から「お母さん明日も弁当お願いねー」の言葉。やっぱり息子は私のお弁当がいんだ!と嬉しくなるとともにちょっぴり反省いたしました。

この様な息子とのやりとりも後少しで終わるかあ!と少し寂しさを感じつつも、チン!の音は程々に今日も台所に立つ毎日です。

(三年生保護者)



息子が野球部に入学した時から、質と量を考えてながらのお弁当作りが始まりました。スマートフォンでクックパッドの「スタミナ弁当」「簡単すぎまおかず」等のレシピを検索しながら頑張っています。息子とお弁当の話しをきっかけに学校の出来事も聞けるようになりました。子供達が、お弁当のふたを開ける瞬間を楽しみにしてくれるようなお弁当を目指して、これからも頑張ってお弁当を作りたいと思います。

(一年生保護者)

お弁当を作り始めて二年目になりました。息子二人は運動部のため、お腹に溜まる物と思いい、日々お肉料理のレパートリーを考えています。下の息子は玉子焼きが好きで、給食では出来なかつたよそのご家庭の味も楽しんでるようです。お弁当にはそこそこの家の味があり、その中でもうちの玉子焼きがお弁当に入っているとテンションが上がると言ってくれる息子のために、心を込めてお弁当を作ろうと思います。一日一日減っていく我が子との生活の中で、私はお弁当作りを頑張った!!と自信を思っ言えたら、子ども達にもその有り難さが伝わるのだろうと思いたいです。

(二年生保護者)



# 新転任者紹介

## 4月に赴任した先生方に 抱負を頂きました。



### 「美しい五島高校」



美術科 西澤 秀行

五島高校に赴任して、城壁とお濠の美しさや立派な校舎に感動しました。私の出身地が平戸なので、城と海という似た空気にも安らぎを覚えます。

単身赴任し、三食、寮の食事をいただくのですが、夕方、正門から寮まで歩きながら、美しい城壁とお濠を見ることで、とても心が安らぎます。特に雨の日の石垣はきれいです。五島高校、五島海陽高校、五島南高校の三校を兼務し

### 「出会いを大切に」



英語科 測上 透

五島へ赴任して三ヶ月が経ちました。私よりも先に前任校から五島高校へ異動されている先生方がたくさんいらっしゃったので、さほど不安を抱くことなく五島での生活を始めることが出来ました。私は熊本県の八代市で生まれ育ちました。八代海のすぐ側に家があったので、今の生活は何となく懐かしい感じがしています。五高生と授業や部活動でふれあうにつれ、彼らの明るさや素直さ、一生懸命さをしみじみと実感しています。また、いろいろな場所や店で出会う地元の方々の何と優しい温かいことか。今までたくさんの人と出会い、その都度私の人生は豊かさを増してきました。この五島の地においても出会いを大切に、さらに豊かな人生にしたいと思っています。もちろん自分だけ

### 「辞本涯」の決意



国語科 森 康一郎

ています。そのすべての学校で、美術を選択したすべての生徒が、「美術を選択してよかった」「いい作品が描けた」と思えるような授業ができるよう努力していきたいと思っています。

また、これまで以上に、自分自身もいい作品が描けるよう、生徒と共に学びながら、日本画の作品制作をがんばりたいと思います。どうぞよろしく願っています。

「ここに地果て海始まる」という言葉があります。この言葉はポルトガルの詩人による詩の一節であり、ユーラシア大陸最西端の岬であるロカ岬にある石碑に刻まれています。この言葉を思い出すと、私は大航海時代にこの岬から放立していた航海者たちの決意を想像せずにはいられません。そして奇しくも五島三井業には弘法大師空海が残した「辞本涯」の石碑があります。空海や遣唐使たちの想いもまた航海者たちのそれと同じだったのでしょう。時代の場所は変われど、その想いは変わりません。「人は何かを成そうとするときには人生を賭け、命を賭けて臨むもの」なのです。五島高校生は、これから進路実現という目標に向かって、様々な困難に立ち向かって行くことでしょうか。そのためには、正に「辞本涯」の決意が求められます。私は生徒たちがこの決意を持つことができるよう、一杯サポートしていきたいと考えています。どうぞよろしく願っています。

### 「念(おも)い」



国語科 塚副祐貴子

「念い」—この言葉を初めて目にし、耳にしたのは、大学卒業後に就職した会社の新入社員研修の時です。「思い」や「想い」ではなく、「念」を達成させるためには「念い」というものを聞き、衝撃を受けました。「念い」には「念ずる」という意味も含まれます。目標を達成したいと強く念じ、行動に移すことが大切なのだということをこの時学びました。さて、五島高校に赴任して早いもので三ヶ月が過ぎました。赴任して驚いたのは土日も学校で勉強に励み、熱心に質問に来る生徒が多いことです。目標に向かって毎日一生懸命頑張る生徒の皆さんの姿を見ると、胸が熱くなるとともに、その「念い」に何と加して応えたいと思う日々です。その私の「念い」を達成するために、この五島の地で精一杯取り組んでいく覚悟です。どうぞよろしく願っています。

### 「夢」



数学科 榎本 英人

五島高校に赴任をし、数ヶ月が経ちました。やっ

と生活にも慣れ始め周りをみる余裕が出てきました。さて、話が変わります。前任校での出来事です。生徒会誌に載せるためのインタビューでこのようなことを聞かれました。「榎本先生の将来の夢は何ですか?」

「夢」を持って、それを叶えるために努力をし、その過程でまた「夢」を持つ。追われている生活では「夢」なんてできやしません。「夢」を持つ余裕を持つて生活してみてください。

### 「原点」



英語科 島崎 英範

私の祖父が五島で呉服店を経営していた関係で、幼い頃毎年のように五島に遊びに来ていました。山越えのドライブや三井楽の海で泳いだことは今でも鮮明に覚えています。また、大

### 「挑む」



音楽科 金子真名美

学を出て初めて教壇に立ったのもこの五島高校でした。そして今回、念願の五島高校に勤務することができると大変嬉しく思っています。私にとって、五島はいろいろな節目で原点となっている地です。今回も、部活動指導・教科指導など自分自身が学んできたこと、経験してきたことを五島高校で全て出し切り、五島から何かを発信できるようにしたいという目で挑戦したいと思っています。高校時代は、学習・部活動・学校行事と自分自身の可能性にどこまでも挑戦できる時期だと思います。一度しかない高校時代をどう過ごすかは自分自身の覚悟次第。生徒達が自分自身の進路を決め、しっかりと自分の足で進んでいけるように精一杯頑張っていきたいと思っています。これからよろしく願っています。

### 「成長の一年」



看護科 平野 朝子

う間ですが、毎日充実した日々を送っています。そんな中、私の今年の目標は「挑戦」です。自ら人と関わっていくこと、自ら困難に立ち向かうこと、自ら切り開くこと。環境に慣れてしまつてしまつて、つい他人の動きばかり気になってしまつてもいいです。私もその一人です。五島高校生は多くの可能性を秘めています。この素晴らしい環境で、どれだけ自ら動いていくのか。失敗してもいいから自分の可能性を信じて挑戦してみてください。そして、私も教員として生徒の成長を止めないよう精一杯頑張ります。とはいえ、毎日楽しく生活することも大切なんです。だから今日も私は、鼻歌まじりで音楽室へと向かいます。

### 「すべてはとらえ方次第」



保健体育科 平山 豪

「プラス思考」という言葉があります。物事をいい方に考えようということですが、大変いい言葉ですが、私は、「考える」だけではダメだと思っています。世の中にはしたくないけれどもした方がよいこと、また、しなければならぬことがあるとあります。ときには理不尽で納得できないこともあるかも知れません。しかし、それらのことはすべて、自分のとらえ方次第でいくつでもプラスにできると私は思っています。「いい方に考える」のではなく、「プラスの力に変える」こ



とのできる柔軟な心を持ちたいものです。どうせしなければいけない事なら、せつかに自分のためになるように取り組んだ方がいいですよ。さて、学校生活に目を向けてみると、なかなか気が乗らない、億劫に感じること多いかも知れません。そのようなときには少し考え方を変えて、どんなことでも自分のためになる！と思つて取り組んでみよう。人生は無駄なものなど何一つとしてない！すべてはあなたのためです。高校3年間を全力で駆け抜けよう。

「ついに頂へ…」



保健体育科 村上 勇磨  
前任校までの3年間を体育コーディネーターとして、県内の小学校に勤務していました。毎日、中休みと昼休みに子ども達と鬼ごっこやドッジボールをしたり、くまさんやお花のついたピンク色のエプロンを付けて一緒に給食を食べていました。現在は陸上競技協会国体強化部競歩プロジェクトの強化指導員として活動している反面、教員になる前はパーテンドーとしてお客様に様々なカクテルを提案していました。私の好きなカクテルは「ガルフストリーム」カミカゼでは、あんなにガルフストリームが五島高校に赴任して3ヶ月が経ち、感じたものは生

徒達の熱い眼差しとやる気でした。ドラマ ROOKIESの名言に「夢に煌めけ、明日にときめけ」とあったように何事にも正面から挑戦していく生徒達の姿を見て感動を覚えました。生徒達は、無限の可能性を隠し持っています。そのため、自分の道を切り開く自信と勇気を大切にしたいです。根拠のない自信に勝つものはありません。ちなみに私の名前の由来は「勇気を磨く」で「勇磨」です。「何事も出来なくて当たり前。出来ないことが当たり前になった時、いつか本物になる」だからこそ「できる視野を広げて、見る視点を交える」指導を志しています。そして、持ち前の雑草魂とハングリ―精神で生徒達と真つ向から向き合つて行こうと思つています。最後に私の座右の銘は「夢は大きく、目標は高く、想いは熱く」です。今度も熱い指導をよろしくお願いします。

「五高生の力」



家庭科 川田 理絵  
五島高校に赴任して早くも3か月が経ちます。初めての五島高校、どんな生徒達がいるのだろうか。どんな学校なのか。とても不安な生徒が「こんにちは」生徒が明るく元気な声で挨拶してくれました。とても印象に残っています。挨拶ひとつで、不安でいっぱいだった私の気持ちはどこ

かへ吹き飛び、これから頑張っていこうと前向きな気持ちになっていました。また、生徒達は、早朝補習や部活動、行事まで、何事にも明るく懸命に取り組んでいきます。私は、そんな姿に励まされ、充実した日々を過ごすことができています。高校時代は、自分の目指す進路へ向けての大切な準備時期であり、今、懸命に努力することが将来の可能性を大きく開く鍵となります。生徒達は、まだまだ全力ではないようです。これからどんな力を発揮してくれるのか楽しみです。私も、共に学び何事にも一生懸命取り組み、生徒達が夢や目標へ一歩でも近づけるよう、応援するとともに精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。

「科学者の奮闘」



理科 野口 武靖  
こんにちは。理科の野口武靖です。下の名前はよく「たけはる」と間違われま

が波の性質をもつのは当たり前のように扱われています。しかし、ずっと昔では光は波だと考えられておらず、多くの科学者が「ものを見る」ときは眼から出て細い糸のようなものが出ていて、その糸が物体に触れることで物体の色や形を認識する」と信じていた時代もありました。その後、いろいろな研究を経て「光」は波であることが分かりました。これに関わつた科学者の凄いとこは、諦めなかつたこと。だと思ひます。五島高校の皆さんにはそれぞれ目標があると思ひます。目標を見つめて、諦めず行動すれば、いつか叶います。私はそんな君たちを全力でサポートしていきます。よろしくお願ひいたします。

「日々学び、そして感謝」



国語科 平山 紫帆  
4月から五島高校に赴任してきました国語科の平山紫帆と申します。4年前までは皆さんと同じように私もこの五島高校の生徒でした。毎日の課題に追われたり、土日の度にある模試を恨んだり、またその模試の結果に落ち込んだり。そんな生活を3年間過ごしてきたのですが、今振り返ると「なんて充実した3年間だったんだらう」と、あの時に戻りたい気持ちでいっぱいになります。五島

高校で生活をしていると毎日多くの学びがあります。ね。学習面ではもちろん、志の高い友人や熱心な先生方との何気ない会話の中にも、学ぶことはたくさんあると思ひます。それら日々の学びは必ず自分を成長させてくれます。五島高校を卒業した後も皆さんの大きな財産になります。日々の学びを大切に、どんな自分のものにしていくべきか。そして、一番大切なのはこの学び多き恵まれた環境に対して感謝の気持ちを持たないこと。私も皆さんに負けたくないように、社会人1年生として「日々学び、そして感謝」の精神で多くのことを吸収し、成長し続けていこうと思ひます。五高生のみならず一緒に頑張りたいです！

五島に来て一年



事務 藤林美由紀  
平成25年3月、島原特別支援学校に在籍していた私は、育児休業中でした。内示の日に主人からまさかの電話。「五島に転勤になった」と。

江のペビースイミングに週3回通い、子育て支援センターにも通い続け、沢山のママ友ができました。そして、平成26年3月内示の日。希望通りの五島高校への転勤が決定！今は、母子とも健康で、働くことができます。感謝しながら、毎日過ごしています。2年半ぶりの職場復帰で、5年ぶりの高校勤務なので戸惑うことも忘れてしまっていることも沢山あり、周囲には多大なる迷惑をかけてしまつていますが、私らしく学校に貢献できる仕事をしたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。

「今しかできないこと」



実習助手 小柳 正樹  
五島高校に着任し、三ヶ月が経ちました。岐宿出身ということもあり地元で働けることを嬉しく思ひます。

さい。さあ部活に勉強にいろいろな忙しい高校生のみなさん、今しかできないことを後悔しないようやるだけやってください。私はいつも「やらずに後悔よりやつて後悔しよう」と決めています。人生は1回きりです。高校3年間、楽しくなるのも充実させるのも自分次第。明るい未来のために共に頑張りたいです。どうぞよろしくお願ひします。

切磋琢磨



英語科 中山 未来  
初めて五島にやってきました。早三か月が経とうとしています。初めは、社会人1年目の初めての離島生活に不安でいっぱいでしたが、先生方や生徒の皆さん、地域の方々が温かく迎えてくださったので、すぐに五島での生活に慣れることができました。五島に来て驚いたことの一つに、スーパーなどのお店で買い物をする時、袋詰めまでしてくださることです。五島の皆さんの温かさを日々感じています。

私の高校生活を振り返つてみて、一番充実していたのは高校時代です。そこでは素晴らしい先生方にも一生もの友人にも出会うことができました。私が所属していた部活の合言葉は「切磋琢磨」です。お互いに頑張りあつて高めあつていこうという気持ちを持つた仲間が恵まれた高校時代

「夢に燃える」



保健体育科 長尾 正博  
五島高校22期の卒業生になります。海陽高校を退職後、再任用教諭として本年度より再赴任しました。平成8年より19年までの11年間、旧校舎から新校舎への過度期、100周年など思い出多い時代を本校で過ごしました。その間、県高総体2回、九州大会、インターハイと剣道競技に関しても当地での開催があり、当時の各方面の皆様の大なるご支援の下、非力ながら頑張れたことを思い出します。さて、7年ぶりの本校の感想はスマートフォンになったという事です。垢抜けて洗練されたが泥臭さがなくなった。「千万人といえども、我ゆかん」といった、もつと気概に燃えた若人らしさもあつていいのでは。「値我郷、石田城の学舎に」若人集いて 夢にぞ燃えん「西海の波の果てより全国を若き血潮に めざせ武士」多感な高校生を教育環境抜群のなかで過ごして現実のものとなるよう現在を頑張りたいです。

五島高校の皆さんにも周りに高めあつていける仲間がたくさんいると思ひます。私も皆さんと一緒に日々学びながら成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。